

旧魂 16V Booster 説明書

※必ず整備士等で電氣的知識、正しい工具の使用方法が分かっている人物で取り付けをお願いします。

※バッテリーのアースは必ず抜いて車両の電気をOFF状態にして作業してください。

※必ず取付前にイグニッションコイルの抵抗値が3オーム以上ある事をご確認下さい

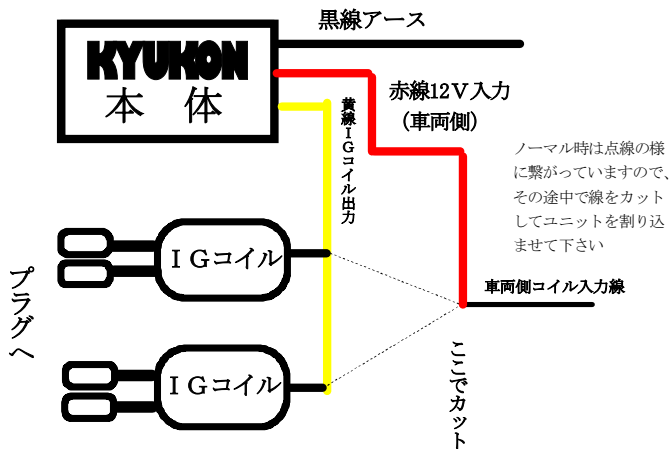
※本説明書でご理解頂けない場合は危険ですのでショップ等での取付をお勧め致します

結線はイグニッションコイルのプラス線（メインスイッチまたはイグニッションコイルリレーからの配線）を途中でカットしてカットした車両側線を赤色（12V入力）に接続、黄色線（16V出力）をカットしたイグニッションコイル側に接続、黒色（アース線）をボディーまたはバッテリーのマイナスへ確実に接続してください。詳細は図を参照してください。

本体は防水処理をしていませんので水のかからない場所へ取り付けてください 本体の取り付けは 強力な両面テープ、タイラップ等で固定してください。

[配線色の種類役割] 赤色 (+12V I Gコイル入力) 黄色 (+16V出力) 黒色 (アース)

I Gコイル2個の場合 (バイク等の場合)



配線図は4気筒2コイル、4気筒4コイルのみですが
3気筒3コイル、6気筒6コイル共に基本配線は同じ
と考えてください (6気筒等の車両はユニット2個必要な場合がございます)

各IGコイルへ12Vが来ていますのでどこか1か所へ赤線12V入力を結線して、その他の空いた線は必ず絶縁処理をしてボディー等とショートしないようにして下さい。

[イグニッションコイルの+側がわからない場合は]

バッテリーを繋いでイグニッションコイルに接続されているコード（カプラーをすべて抜いてください、その状態でイグニッションキーをONの状態にしてテスターの電圧計測レンジでコード（カプラー）配線の電圧を計測します
バッテリー電圧（+12V）が来ている線が12V+側（車両側入力線）となります

◎エンジン始動確認後はプラグの火花が強くなる事でプラグの消耗が若干早くなりますので必要に応じてプラグを新品にしてプラグギャップを1.1~1.3にして頂く事をお勧めします。

[ポイント車へお取付の場合]

- ・イグニッションコイルの抵抗値が3オーム以上ある事を必ず守って下さい3オーム以下ですとブースター本体が壊れます。
- ・ポイントの消耗が通常より若干早くなりますので出来ましたらポイントを新品に交換される事をお勧めいたします。

※エンジン停止状態でのIGキーON状態はエンジン停止時点でポイント接点が閉じた状態ですと16V電圧が流れ続ける為コイルが熱を持ち故障する事がございますのでご注意ください。

★当メーカー発売の旧魂シリーズのセミトラユニットとの相性は抜群です合わせて取付もお勧めです。

[対応未確認な物] 故障時は保証対象外になります

旧車のデストリビューター方式でイグニッションコイルに電流制限用外付け抵抗が装着されている車両

社外点火装置装着車（DYNA-S等コイル抵抗3Ω以上あっても入力電流が5A以上は対応不可がございますので注意して下さい）

[取付不可な物]

イグニッションコイルの抵抗が3Ω以下、入力電流5A以上、CDI点火装置は未対応です

★万が一走行中に本体が故障した際は配線を元の様に繋ぎ直す事で走行可能となりますので、あらかじめギボシのオスメスを合わせて取付をお勧めします

★KYUKONを取り付けた事による車体、人体への故障、事故等の責任は一切負いません。

I Gコイル4個の場合 (車等の場合)

